

## 池田市北部のトンボ

— 1997～1998年の記録 —

木下 修一

### 1. はじめに

前報のチョウの報告(木下, 1998)に引き続いて、池田市北部の伏尾町、東山町を中心にトンボの種類や個体数を調べた結果を報告する。

### 2. 観察地域の特徴

東山町、伏尾町には猪名川の支流の余野川を初めとして、山の中腹にも多くのため池があり、また、近くにはトンボの生育に必要な雑木林も存在し、そのため、狭い地域ではあるが多くのトンボを観察することができる。そこで、これらポイントを中心として、午前中もしくは夕方にトンボの観察を行った。主なポイントを図1に示す。それぞれの特徴は次の通りである。

A：余野川の中流域にあたり、瀬になっている。河原には伏流による小さい水たまりがあり、オオカナダモに覆われている。この地域ではサナエト

ンボがみられ、水たまりには止水性のイトトンボやトンボ類が見られる。

B：小さな用水池でトンボやイトトンボが見られる。この池ではこの地域で唯一ホソミイトトンボが見られる他、イトトンボ類やサナエトンボなど種類は結構見られる。

C：広い池でヒシで覆われ、池の周囲にはガマがはえている。ヤンマ類やトンボ類が見られる。

D：山道沿いで小さな小川がある。昆虫の通り道になっているのか、いろいろな種類が見られる。

E：大きな池でやはりヒシが多い。トンボの種類はそんなに多くはない。

F：小さなため池が点在している。それぞれ、ヒシや水草で覆われ、岸边にはガマ、ミクリなどはえていてトンボが多く見られる他、モリアオガエルの卵なども見られた。このため池ではショウジョウトンボ、ヨツボシトンボ、チョウトンボなど多くのトンボ類が見られた。

G：谷川沿いの暗い環境で、ニシカワトンボが見られる。

### 3. 観察結果

この2年間で見られたトンボは9科45種にのぼる。この結果は黒川地域(木下・牛尾, 1997)と比較しても多く、観察地域内でため池や林などトンボの生育に必要な環境が揃っているためであろう。表1にトンボの月別観測数を、表2に黒川地域との比較を載せる。これらの表で、●、◎、○は個体数を表しており、個体数を大体3段階に分類し、●は数が多い、◎は普通、○は少ないとした。

### 4. 目録

#### <イトトンボ科>

##### 1. ホソミイトトンボ

この地域ではBだけで見られている。

##### 2. クロイトトンボ (10.V.1997 1♂2♀)

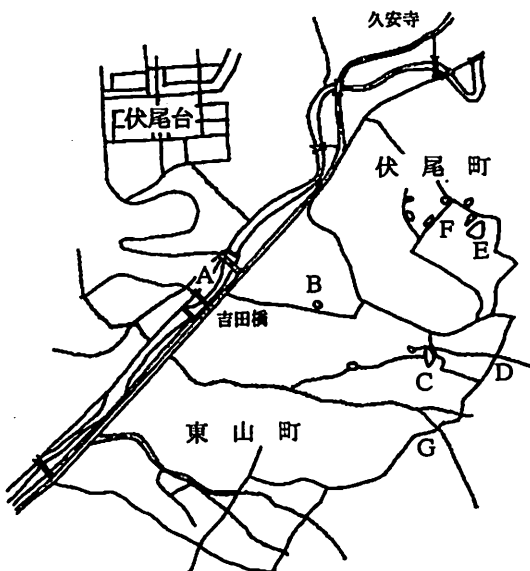


図1 池田市北部のトンボの調査地点

A, B, Fなどにおいて、池田市北部ではもつとも数が多いイトトンボである。

3. アジアイトトンボ(12.IV.1997 1♀, 10.V.1997 1♀)

A, Fで見られるが、それほど多くはない。

4. アオモンイトトンボ(7.VI.1997 1♀, 22.VI.1997 1♂, 12.IX.1998 1♂1♀)

A, B, Fで見られる。数は多くない。

5. キイトトンボ(17.V.1998 1♂)

Fで非常に多くの個体を見ることができた。

#### <モノサシトンボ科>

1. モノサシトンボ

A, B, C, E, Fなど見られ、数も多い。

#### <アオイトトンボ科>

1. オオアオイトトンボ

B, Gなど見られているが、数は少ない。

2. アオイトトンボ (5.X.1997 1♀)

Bで1頭だけ見られた。

3. ホソミオツネイトンボ

Bで見られるが数は多くない。

#### <サナエトンボ科>

1. オグマサナエ (10.V.1997 2♂♂, 17.V.1997 1♂, 18.V.1997 1♀)

B, C, Fでかなりの数が見られる。4月後半には羽化直後の個体が続々と飛んでいく姿が見られた。

2. フタスジサナエ (17.V.1997 1♂, 14.VI.1997 1♂, 29.IV.1998 1♀, 4.V.1998 1♂)

B, C, Fでかなりの数が見られる。

3. ダビドサナエ

A, Bで見られているが、昨年・今年ともに1頭ずつ見られただけである。

4. オジロサナエ (16.VIII.1997 1♀)

Bで1頭だけ得られている。

5. ヤマサナエ (10.V.1997 1♂, 9.V.1998 1♂)

Aで見られているが、数はそれほど多くはない。

6. アオサナエ (9.V.1998 1♂)

Aで川の中の石に止まっているのを採集した

のが唯一の記録である。

7. コオニヤンマ (19.VI.1997 1♂, 5.VII.1997 1♀)

Aで川の中の石に止まっているところがたびたび目撃されている。

#### <カワトンボ科>

1. オオカワトンボ (10.V.1997 1♂)

Aの余野川の河原で毎年見られているが、数は少ない。

2. ニシカワトンボ (10.V.1997 1♀)

5月頃、山沿いの薄暗い道にかなりの数を見る。

3. ミヤマカワトンボ (10.V.1997 1♂)

以前は見られなかったが、最近ではAで2年つづけて見られている。

4. ハグロトンボ (5.VII.1997 1♀)

Aで毎年多く見られている。

#### <エソトンボ科>

1. コヤマトンボ (18.V.1997 1♂)

山沿いの道で旋回しているのをときどき見かける。

2. タカネトンボ

山沿いの道Dで旋回しているのを見かけたのが唯一の観察例である。

3. トラフトンボ (4.V.1998 1♂, 9.V.1998 1♂)

昨年は気がつかなかったが、今年は河原Aで飛んでいるところとC, E, Fの池で巡回している姿を見た。

#### <ヤンマ科>

1. クロスジギンヤンマ (10.V.1997 1♂)

A, B, C, E, Fなどの水たまりや池でしばしば見ることができた。

2. ギンヤンマ (3.VIII.1997 1♂)

クロスジギンヤンマと同様に池に多いが水を張った田圃でも多く見られた。

3. コシボソヤンマ (10.IX.1997 1♂)

吉田橋のバス停で瀕死の状態を拾ったのが唯一の観察例である。

4. ミルンヤンマ (12.X.1997 1♀)

秋も深まった頃、山道を飛び回っているのを

表1 池田市北部月別トンボ発生状況 (1997-98)

	月 1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		個体数
	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
1 ホソミイトトンボ							○	●	●	●	●	◎	◎				○	○							●
2 クロイトトンボ							○	●	●	●	◎	●	●	◎	●	◎	●	○							●
3 アジイトトンボ							○	○	○	◎	○	○			○	○		◎							◎
4 アオモンイトトンボ											○	○	○	○	○	○		○							◎
5 キイトトンボ										◎	○	●	●	●	◎										●
6 モノサシトンボ									○	◎	●	●	◎	●	◎	○	○								●
7 オオアオイトトンボ											○	○								○	○	◎			◎
8 アオイトトンボ																			○						○
9 ホソミオツネトンボ					○	○	○				○	○													○
10 オグマサナエ					○	◎	◎	○																	◎
11 フタスジサナエ					○	○	○	○																	○
12 ダビドサナエ					○																				○
13 オジロサナエ																○									○
14 ヤマサナエ					○	○	○	○																	○
15 アオサナエ								○																	○
16 コオニヤンマ													○	○											○
17 オオカワトンボ					○	◎	○																		◎
18 ニシカワトンボ					◎	●	○																		●
19 ミヤマカワトンボ					○	◎	◎	◎																	◎
20 ハグロトンボ											○	○	◎	●	◎	○	○								◎
21 コヤマトンボ								○	○																○
22 タカネトンボ																		○							○
23 トラフトンボ							○	○	○																○
24 クロスジギンヤンマ					○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								◎
25 ギンヤンマ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							◎
26 コシボソヤンマ																	○								○
27 ミルシヤンマ																			○						○
28 マルタンヤンマ														○	○										○
29 カトリヤンマ																	○								○
30 オニヤンマ													○	○	◎	○	○	○							◎
31 シオヤトンボ					◎	◎	◎																		◎
32 ショウジョウトンボ					○	○	●	●	●	●	◎	○	○												●
33 ヨツボシトンボ					●	●	◎																		●
34 シオカラトンボ					○	●	◎	○	●	◎	●	◎	●	◎	○										●
35 オオシオカラトンボ						○	○	◎	◎	●	◎	○	○				○								●
36 ハラピロトンボ					○		○	○	○																○
37 コシアキトンボ							●	○	●	●	●	◎	○												●
38 チョウトンボ											○	●	●	●	●										●
39 ウスパキトンボ											○	●	●	●	●	●	◎								●
40 アキアカネ												○		○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●
41 ナツアカネ																○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●
42 マユタテアカネ													○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●
43 リスアカネ											○	○	◎	◎				○	○						◎
44 ノシメトンボ																○	○	◎	○						◎
45 コノシメトンボ																			○						○
種類数合計					1	4	15	19	21	22	17	19	19	20	20	17	13	13	4	5	1				

表2 黒川地域と池田市北部(東山、伏尾)のトンボの比較

	科名	種名	幼虫 黒川	成 黒川	虫 東山	兵庫県 RDB
1	イトトンボ	キイトトンボ		●	●	
2		ホソミイトトンボ	○	●	●	
3		アオモンイトトンボ			◎	
4		アジアイトトンボ		○	◎	
5		クロイトトンボ	○	◎	●	
6	モノサシトンボ	グンバイトンボ		○		C
7		モノサシトンボ	○	◎	●	
8	アオイトトンボ	アオイトトンボ		○	○	
9		オオアオイトトンボ	○	●	◎	
10		ホソミオツネントンボ		●	○	
11	カワトンボ	ミヤマカワトンボ			◎	
12		ハグロトンボ	●	◎	◎	
13		ニシカワトンボ	●	●	●	
14		オオカワトンボ	◎	●	○	
15	サナエトンボ	ヤマサナエ	◎	◎	○	
16		タベサナエ	○			
17		フタスジサナエ			○	
18		オグマサナエ		○	◎	
19		ダビドサナエ	◎	◎	○	
20		オジロサナエ	◎	○	○	地
21		アオサナエ			○	C
22		オナガサナエ	○			
23		コオニヤンマ	◎	◎	○	
24	オニヤンマ	オニヤンマ	●	●	◎	
25	ヤンマ	サラサヤンマ		○		B
26		コシボソヤンマ	●	○	○	
27		ミルンヤンマ			○	
28		カトリヤンマ	○	○	○	
29		ヤブヤンマ	○	○		
30		オオルリボシヤンマ			○	
31		マルタンヤンマ			○	
32		クロスジギンヤンマ			◎	
33		ギンヤンマ	◎	◎	◎	
34	エソトンボ	トラフトンボ			○	
35		タカネトンボ		○	○	
36		コヤマトンボ	●	○	○	
37		オオヤマトンボ	◎	○		
38	トンボ	ハラビロトンボ		◎	○	
39		シオヤトンボ		◎	◎	
40		シオカラトンボ	○	●	●	
41		オオシオカラトンボ		●	●	
42		ヨツボシトンボ			●	
43		ユフキトンボ	○			
44		ショウジョウトンボ	○	○	●	
45		ナツアカネ	○	●	●	
46		アキアカネ	○	●	●	
47		マユタテアカネ	●	●	●	
48		マイコアカネ			○	
49		リスアカネ			◎	
50		ノシメトンボ	●	●	◎	
51		コノシメトンボ			○	
52		コシアキトンボ		◎	●	
53		ウスバキトンボ		●	●	
54		チョウトンボ			●	
		合計	27	37	47	

注：黒川の欄は文献(木下・牛尾、1997)による。兵庫県RDBの欄は「ひょうごの野生動物」神戸新聞総合出版センター(1997)による(B：Bランク、C：Cランク、地：地域限定貴重種)。

何度か目撃した。

5. マルタンヤンマ

8月の夕方遅く、Fのため池で産卵する♀の姿を二、三度見かけたが、採集するところまではいかなかった。

6. オオルリボシヤンマ (11.IX.1996 1♂)

伏尾台のマンションの壁に止まっているとこを採集することができた。野外では観察していない。

7. カトリヤンマ(12.IX.1998 1♂)

山道沿いでときどき見かけるが、昨年・今年とも数は少ない。

<オニヤンマ科>

1. オニヤンマ

山道を巡回する姿は夏の風物詩である。

<トンボ科>

1. シオヤトンボ (10.V.1997 1♀, 18.V.1997 1♀)

早春の山道D~Gではかなりの数を見ることが出来る。

2. ショウジョウトンボ (10.V.1997 1♀, 9.V.1998 1♀, 18.V.1998 1♂)

AやFでかなりの数を見ることが出来る。♀は田圃でもよく見かけた。

3. ヨツボシトンボ (10.V.1997 2♂♂, 9.V.1998 1♂)

昨年Aで数頭見られたのが初めての観察で、今年はFの池で多産していることが分かった。

4. シオカラトンボ

池や田圃の岸辺で見られる普通のトンボである。

5. オオシオカラトンボ (4.VI.1997 1♂)

シオカラトンボとほぼ同様な所で見られ、やはり数は多い。

6. ハラピロトンボ (7.VI.1997 1♂)

Aで数は少ないが見ることが出来る。

7. コシアキトンボ (4.VI.1997 1♂)

山道および池で非常に多いトンボである。

8. チョウトンボ (5.VII.1997 1♂)

B, C, E, Fの池及びその上空を舞う姿は本当に優雅である。数はかなり多い。

9. ウ斯巴キトンボ (5.VII.1997 1♂)

夏前の田圃に水が張られると待ってましたとばかり、田圃の上をものすごい数の個体が飛び回っている。

10. アキアカネ

次のナツアカネ、マユタテアカネと共にこの地域のアカトンボの中核を形成する。

11. ナツアカネ (3.VII.1997 1♀)

アキアカネと共に数は多い。

12. マユタテアカネ

夏のさなかにも林の脇に夏を越す個体を結構見る。秋には非常に数が増える。

13. リスアカネ (19.VII.1997 1♂, 20.VI.1998 1♀)

マユタテアカネとともに林の脇で夏を越している。夏は個体数がかかなり多く感じられるが、秋にはナツアカネやアキアカネなどに押されて目立たない。

14. ノシメトンボ

秋になると山道沿いに多くの個体を見ることが出来る。

15. コノシメトンボ (12.X.1997 1♀)

この地域ではこれまで 1頭だけ見られている。

16. マイコアカネ (30.IX.1995 1♂)

アカトンボ類に混じってこれまで 2,3頭見かけられた。数は多くないと思われる。

注：日付のないものは目撃または採集後放したものの。なお、目録には以前に採集した記録も含めている。

<参考文献>

木下修一・牛尾巧(1997) きべりはむし 25(2):39-43.

木下修一(1998) きべりはむし 26(2):13-16.

(KINOSHITA SYUICHI 池田市伏尾台5-1-5-901)